

8月26日：VN 指数は弱気に推移 (VN-Index -0.41%)

- 先週金曜日の米ジャクソンホール会議を通過し、本日のVN 指数は外国人投資家の資金流入の期待と思われる買いが入り上昇して開始した。
- 不動産、金融、銀行セクターなど、指数の構成割合が高いセクターで買いが先行し、指数をけん引した。
- しかし、後場の序盤ではどうにか上昇幅を維持したものの次第に下落をし始め、前営業日終値を下回って本日の取引を終了した。
- 前場の取引とは対照的に、ほぼすべてのセクターが下落を記録し、とくに食品・飲料、化学セクターの下落が影響した。
- 148 銘柄が上昇、259 銘柄が下落、68 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 8.6% 上昇し、18.3 兆ドンとなった。

VN30 指数は小幅安 (VN-30 -0.19%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、6 銘柄が上昇、21 銘柄が下落、3 銘柄が変わらずだった。
- VHM (+1.89%)、VRE (+1.79%)、VIC (+1.44%)などが主な上昇銘柄であったものの、そのどれもが 2% 以下の上昇にとどまった。
- 一方、MSN (-2.18%)、BCM (-2.07%)、VNM (-2.00%)が大きく下落した。

セクター・個別株の動き

- MWG (-0.29%)は 2024 年 7 月までの業績を発表。2024 年通期計画の 61% である 76.5 兆ドン（前年同期比+15%）の売上を確保したものの、エアコン販売のシーズンが終了したことにより、前月ほどの勢いは見られなかった。
- ハウザン省人民委員会はメコン川流域でのリゾートプロジェクトの誘致のために VIC (+1.44%)との会合を開催した。本プロジェクトでは推定 62 億ドルの投資による 2,945ha の開発が予想される。

- 外国人投資家は 3,880 億ドルを売り越した。売り越しは HPG (-0.19%)が顕著であった一方で、買い越し目立った銘柄は見られなかった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。